

追評価報告書

大学名称 金沢医科大学 (大学評価実施年度 2020 (令和2) 年度)

1. 大学評価後の改善に向けた全般的な取り組み状況

2018年：文科省による指摘について

本学が実施した2018(平成30)年度医学部入学試験において行った特別推薦入学試験(AO入試)及び編入学試験における属性による加点・減点方法や、一般入試における補欠合格者の選定方法について、2018(平成30)年11月に文部科学省から不適切との指摘を受けた。

2019年：第三者委員会及び医学部入試制度検討委員会の設置と取り組みについて

本学ではこの事態を重く受け止め、2019(平成31)年2月に、日弁連のガイドラインに準拠した「第三者委員会」を設置し、学外者3名による調査及び検討が開始され、2019(令和元)年5月31日に「報告書」が提出され、本学ホームページにも掲載した(資料1-1、資料1-2)。

また、2019(平成31)年4月に入試担当副学長を委員長とした「医学部入試制度検討委員会」を設置し、問題発生の根源を明確にしたうえで、有効な改善を図るための審議を開始した(資料1-3、資料1-4)。

医学部入試制度検討委員会では、2019(令和元)年5月末までに、一般入試補欠繰り上げ合格順位の開示や合格者判定基準の見直し、入学試験実施後の検証体制など不適切指摘事項を含む13の改善策にまとめ、2020(令和2)年度入学試験に盛り込み実施した(資料1-5)。

さらに、2019(平成31)年9月には、入学者選抜に関する権限が集中し一部の委員の裁量で選抜が行われたことが問題として、入試体制の見直しを行い、これまで1本であった「入学試験実施規程」を3つに分離、委員会の所掌を明記し、それぞれに権限及び責任を分散した(資料1-6)。

2020年：大学評価「不適合」への判定変更と取り組みについて

大学基準協会により、10の大学基準のうち、問題に係る「基準5：学生の受け入れ」「基準9：管理運営」「基準10：内部質保証」の3つについて調査が行われ、2020(令和2)年1月に「適合」判定が取り消され、「不適合」へと判定変更となった。

「学生の受け入れ」及び「管理運営」については、2020(平成31)年度入試が2019(令和元)年度中に実施されるため、判定変更となる前年から「入試制度検討委員会」を中心に改善に向けて取り組んだ。

「内部質保証」については、入学試験実施後の検証として、2020(令和2)年5月に、学校法人金沢医科大学点検評価規程に基づき、金沢医科大学評価運営委員会を開催、部門評価委員会として「入試評価小委員会」を組織し、令和2年度入学試験の点検・評価を実施した(資料1-7、資料1-8、資料1-9)。

また、2020（令和2）年5月末には、学校法人金沢医科大学寄附行為に定める監事2名による令和2年度入学試験に関する監事監査が実施された（資料1-10、資料1-11）。

これらの点検・評価及び監事監査の結果に基づき、2021（令和3）年度入試の実施に向けて一層の改善に努めている。

<根拠資料>

- 1-1 第三者委員会「報告書」
- 1-2 第三者委員会「報告書」HP
- 1-3 医学部入試制度検討委員会の設置及び委員発令稟議書
- 1-4 金沢医科大学医学部入試制度検討委員会規程
- 1-5 第1085回医学部教授会議事録
- 1-6 金沢医科大学医学部入学試験実施組織図
- 1-7 学校法人金沢医科大学点検評価規程
- 1-8 金沢医科大学評価運営委員会名簿・発令稟議書
- 1-9 医学部入試評価小委員会名簿・発令決裁
- 1-10 学校法人金沢医科大学寄附行為
- 1-11 学校法人金沢医科大学監事監査規程

2. 各提言の改善状況

(1) 重大な問題点（「金沢医科大学に対する調査結果」で指摘された事項）

No.	種 別	内 容
1	基準	基準5 学生の受け入れ
	問題点の概要	金沢医科大学における医学部医学科の入学試験においては、卒業後の当該大学や北陸地域への定着率の問題を解決するためであったものの、受験生に明示することなく同窓生子女、北陸三県高校出身者、現役・一浪生に対する加点による得点操作を行っていたこと、明確な基準を設けることなく学長と入試実施委員長のみが補欠合格者の選定を行っていたことから、不適切な入学者選抜が行われていたといえる。
	当時の状況	この度の問題は、文部科学省により実施された「医学部医学科の入学者選抜における公正確保に係る緊急調査」として実施された、2018（平成30）年8月の書面調査、10月の訪問調査及び聞き取り調査の結果、2018（平成30）年度入学試験について同省から3点の指摘を受

		<p>けたものである。</p> <p>1点目は、特別推薦入学試験（AO入試）の推薦書の評価において合否判定の際に同窓生子女、北陸三県高校出身者、現役・一浪生に対して加点していた。</p> <p>2点目は、編入学試験（第1学年次後期編入）の書類審査で北陸三県出身者に加点、年齢に応じた加点・減点（25歳以下加点、27歳以上減点）していた。</p> <p>3点目は、一般入試の補欠合格者の選定において、年齢なども加味して判定していた。</p>
改善状況		<p>2018（平成30）年度入試において不適切と指摘を受けた事案について、2019（平成31）年度入試では、特別推薦入学試験（AO入試）及び編入学試験における属性による加点・減点は排除し、一般入試における補欠合格者の選定方法については、医学部教授会において、全評価項目（筆記試験、面接、小論文、調査書）の各点数とその合計点数を得点順に並べた入試成績一覧（総合成績順）に従って補欠繰り上げ合格者を決定した。また、合計点数が同点の場合は筆記試験、面接、小論文の順に得点の高い者から順に繰り上げ合格者として決定した（資料2-（1）-1-1）。</p> <p>これにより2019（令和元）年6月に実施された文部科学省による訪問調査の結果、2018（平成30）年度に実施した2019（平成31）年度入試は適切に行われたとの評価を得た（資料2-（1）-1-2）。</p> <p>2019（平成31）年2月には、学外者3名による「第三者委員会」を設置し、不適切と指摘を受けた事案を中心に2018（平成30）年度特別推薦入学試験（AO入試）、編入学試験、一般入試について調査及び検討が行われた。入学試験関係資料の再精査及び関係者からのヒヤリングの結果、2019（令和元）年5月末に調査報告書が提出され、本学ホームページにも掲載した。報告書では問題点の指摘と再発防止に関する</p>

		<p>提言がなされ、入試制度の改善に活かしている。</p> <p>2019（平成31）年4月には、本学の入学試験制度を根本から見直し、改善策をまとめる目的で「医学部入試制度検討委員会」を設置し、審議をスタートさせた。審議では、不適切事案の排除に止まらず、問題の根本に立ち返り最善の解決策を検討した（資料2-（1）-1-3）。</p> <p>2020（令和2）年度入試では、本学定着医師の確保を目的とする「卒業生子女入試」制度を導入した。導入にあたり入試制度検討委員会において、アドミッション・ポリシーの見直しを行い、求める学生像として「建学の精神を理解したうえで本学の伝統を継承し将来発展させる人」を追加した。そして、この学生像は、地域医療の重要性と本学の使命と現状を十分理解し、社会で実践している本学卒業生に生まれた子女が相応しいとし、さらに、入学までに医学を学ぼうと必要な基礎学力を身につけるとともに、本学の建学の精神である良医の育成に必要な協調性、思いやり、奉仕の心をも身につけておくことを求めた（資料2-（1）-1-4）。</p> <p>一般入試における補欠合格者の選定方法については、予め補欠者に繰り上げ合格順位を通知し、その順位に従って繰り上げ合格者に通知した。さらに本学ホームページにて随時繰り上げ合格状況を開示し、繰り上げ合格者決定プロセスを透明化した（資料2-（1）-1-5）。</p> <p>なお、2018（平成30）年度入試で行った不適切な処理により不利益を被った受験生に対しては追加合格を決定し、このうち5名が2019（平成31）年4月に入学、1名が2019（令和元）年10月に編入学をした。</p> <p>さらに、不利益を被った受験生全員に対する補償交渉を行い、2019（令和元）年12月に完了した。</p>
	「改善状況」の根拠資料	資料2-（1）-1-1 第1078回医学部教授会議事録 資料2-（1）-1-2

		<p>平成31年度医学部医学科入学者選抜における公正確保等に係る調査結果について</p> <p>資料2-(1)-1-3 第1回医学部入試制度検討委員会(記録)</p> <p>資料2-(1)-1-4 令和2年度入学試験要項 医学部(卒業生子女入学試験)</p> <p>資料2-(1)-1-5 ・繰り上げ合格者(補欠)通知書 ・令和2年度金沢医科大学入学試験補欠者繰り上げ状況HP</p>
＜大学基準協会使用欄＞		
	評価所見	<p>○○○○○○○○○○○○</p> <p>＜改善勧告＞ ・</p> <p>＜努力課題＞ ・</p>
	評定	5 4 3 2 1 評定保留
No.	種 別	内 容
2	基準	基準9(1) 管理運営
	問題点の概要	<p>規程に示された入学者選抜の手續と異なる選抜プロセスがとられていたが、金沢医科大学では、前回の大学評価申請時に提出した『点検・評価報告書』では、学長の権限及び教授会の役割や学長選出の手續等に関して自己点検・評価しているものの、入学者選抜に関して明記されていない。また、前述のように、入学者選抜における属性による不公平な取り扱いについては、学長と入試実施委員長のみで行われており、当事者以外の大学関係者はこれをチェックできる体制にはなかった。</p>
	当時の状況	<p>2018(平成30)年度より入学試験制度の改革を実施するにあたり、医学部教授会において入試実施委員長から制度導入の趣旨として、大学に残る人材の確保であることの説明は行われた</p>

		<p>が、特別推薦入学試験（ＡＯ入試）及び編入学試験における属性による詳細な加点・減点方法や、一般入試における補欠合格者の選定方法について特に審議はされなかった。</p> <p>さらに、この加点・減点処理等については学長及び入試実施委員長の範囲で行われたため、加点・減点処理後の資料に基づき合格者を判定した入試判定委員会のメンバーはこの件に関与しておらず、従って、当事者以外の入試判定委員やその他の大学関係者は、そのような行為をチェックできる体制になかった状況であった。</p>
	<p>改善状況</p>	<p>２０１９（平成３１）年４月に設置した「入試制度検討委員会」では、不適切と指摘を受けた事案について審議を行った。特別推薦入学試験（ＡＯ入試）及び編入学試験における属性による加点・減点については２０１９（平成３１）年度入学試験において既に排除しており、一般入試における補欠合格者の選定方法を含む入学試験全体の見直しや再発防止策について、２０１９（令和元）年５月末までに１３の改善事項としてまとめ、２０２０（令和２）年度入学試験に反映した（資料３－（１）－１－１）。</p> <p>入試に関する権限や責任の分散化、透明化については、これまで１本であった医学部入学試験実施規程を見直し、入試制度を継続して見直す「入試制度検討委員会規程」、入学者選抜の可否判定に係る「入学試験判定委員会規程」、入学者選抜の実施に係る「入学試験実施規程」の３つに分離、委員会の所掌を明記し、それぞれに権限及び責任を分散した（資料３－（１）－１－２、資料３－（１）－１－３、資料３－（１）－１－４）。</p> <p>問題となった受験者の属性による加点・減点処理については「成績処理システム」を改定し、加点・減点入力欄を削除したうえで、採点結果の入力にあたっては、入試実施委員長と副委員長など複数の入試実施委員が立ち合うこととした（資料３－（１）－１－５）。</p> <p>一般入試における補欠合格者の選定について</p>

	<p>も、補欠者に繰り上げ合格順位を通知するとともに、本学ホームページにおいて繰り上げ合格状況を開示することにした。</p> <p>また、年度末の医学部教授会において、補欠繰り上げ合格者を決定した際の入試成績一覧（総合成績順）を資料配付し、教授会前日までの入学手続者数や入学辞退者などの詳細を示したうえで、繰り上げ合格が公正に行われていることを報告した(資料3-(1)-1-6)。</p> <p>さらに、これらの改善事項を条文にして「入学試験判定委員会規程」に盛り込み、継続して実施する体制を整えた。</p>
<p>「改善状況」の根拠資料</p>	<p>資料3-(1)-1-1 令和2年度医学部入学試験実施に向けた改善事項の履行状況</p> <p>資料3-(1)-1-2 金沢医科大学医学部入試制度検討委員会規程</p> <p>資料3-(1)-1-3 金沢医科大学医学部入学試験判定委員会規程</p> <p>資料3-(1)-1-4 金沢医科大学医学部入学試験実施規程</p> <p>資料3-(1)-1-5 令和2年度医学部入学試験成績一覧表作成に係る立会い者・作成者</p> <p>資料3-(1)-1-6 第1105回医学部教授会議事録</p>
<p><大学基準協会使用欄></p>	
<p>評価所見</p>	<p>○○○○○○○○○○○○</p> <p><改善勧告></p> <p>.</p> <p><努力課題></p> <p>.</p>

	評定	5	4	3	2	1	評定保留
No.	種 別	内 容					
3	基準	基準 1 0 内部質保証					
	問題点の概要	<p>金沢医科大学では、入学者選抜の公正性の確保が十分でなかったといえるが、学生の質を担保すると同時に、入学者選抜の公正性を担保することは根本的に必要な取組みである。そのため、自己点検・評価活動が形骸化した取組みとならないよう配慮し、教育、学習等が適切な水準にあることを大学自らの責任で説明し証明するよう、改めて内部質保証システムの有効性について検討することが求められる。</p>					
	当時の状況	<p>前回の大学評価申請時に提出された『点検・評価報告書』では、「評価運営委員会」及びそのもとに設けられた「部門評価委員会」による定期的な自己点検・評価活動及び改善・改革に関する取組みを進めているとしていたが、入学者選抜に関する分野については、(内部質保証システムが)十分機能していない状況であった。</p>					
	改善状況	<p>「学校法人金沢医科大学点検評価規程」に基づき、2020(令和2)年5月に金沢医科大学評価運営委員会を開催し、部門評価委員会として「入試評価小委員会」を組織することとした(資料4-(1)-1-1)。</p> <p>同月に入試評価小委員会による令和2年度医学部入学試験の点検・評価が行われ、</p> <p>①入試関連規程(医学部入試制度検討委員会規程、入学試験判定委員会規程、入学試験実施委員会規程)に基づき入学試験は実施されたか。</p> <p>②令和2年度医学部入学試験要項に基づき入学試験は実施されたか。</p> <p>③入試制度検討委員会審議の改善事項は実施されたか。</p> <p>④第三者委員会からの再発防止に関する提言が活かされたか。</p> <p>以上の4つの観点からなる46項目について点検が行われ、評価結果は評価運営委員会に報告</p>					

	<p>された(資料4-(1)-1-2)。</p> <p>評価運営委員会において審議した結果、「一部改善が必要なところが認められるが、概ね適切であった。」とし、改善が必要な部分については入試制度検討委員会において改善策を検討のうえ令和3年度入学試験に盛り込むことにした(資料4-(1)-1-3、資料4-(1)-1-4)。</p> <p>また、2020(令和2)年5月末には、学校法人金沢医科大学寄附行為に定める監事2名(常勤1名、非常勤1名)による令和2年度入学試験に関する監事監査が実施された。入試関連規程についての指摘はあったが、試験の実施については適切との評価であった(資料4-(1)-1-5)。</p>
「改善状況」の根拠資料	<p>資料4-(1)-1-1 令和2年度第1回金沢医科大学評価運営委員会(議事録)</p> <p>資料4-(1)-1-2 令和2年度医学部入学試験実地検証結果報告書</p> <p>資料4-(1)-1-3 令和2年度第2回金沢医科大学評価運営委員会(議事録)</p> <p>資料4-(1)-1-4 第2回医学部入試制度検討委員会(記録)</p> <p>資料4-(1)-1-5 令和2年度入学試験に関する監事監査報告書</p>
<大学基準協会使用欄>	
評価所見	<p>○○○○○○○○○○○○</p> <p><改善勧告></p> <p>.</p> <p><努力課題></p> <p>.</p>
評定	5 4 3 2 1 評定保留

